



学校だより 神橋

5月号

令和4年4月28日

よこはましりつかみほししょうがっこう
横浜市立神橋小学校

「サイ」から「ゾウ」へ

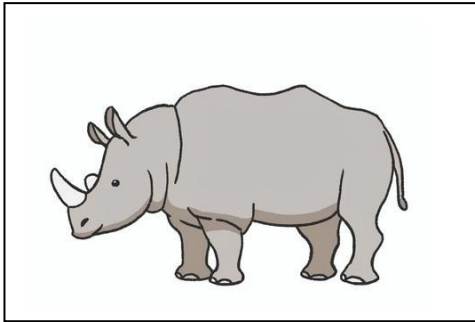
こうちょう はんじ たまみ
校長 判治 珠美

チューリップ、ツツジ、八重桜、藤と、色とりどりの花が学校を彩る季節となりました。

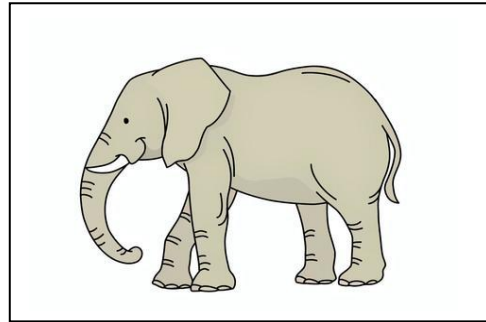
5月21日の運動会に向けた活動も始まり、どの学年からも活気を感じます。

先日、4年生の学年集会にお邪魔しました。体育館で、新しい担任の話をしっかり聞こうとする姿はとても立派でした。その中でこんなお話をしました。

みなさん、これは「サイ」ですね。



これは「ゾウ」です。



みなさんには、「サイ」から「ゾウ」になってほしいのです。どういことでしょうか？

みなさんはこれまでお家の人や先生、高学年の人に「〇〇しなさい」と言われてすることが多かったのではないですか。でもこれからは「〇〇するぞう」と、自分からするようになってほしいと思います。言われてするのではなく、自分で考えて、進んでする、それを「主体的」と言います。

今回4年生にお話ししましたが、4年生だけに当てはまることではありません。ご存知のように、「主体的、対話的で深い学び」を目指している今、すべての子どもたちにつけてほしい力です。そのためには、周りの大人の接し方が大事です。すぐに「〇〇しなさい。」「早くしなさい。」と言われては、子どもたちは自分で考えることがいつまでもできません。子どもたちに自分で考える機会を作ってあげたり、じっくり考える時間をあげたり、大人が待ってあげることが必要です。また、考えて実行したことがうまくいかないこともあるでしょう。そんな時も、失敗や間違いを責めずに、なぜうまくいかなかったのか、どうすればよかったのかを、また考えさせてあげたいものです。子どもたちは経験から学んでいきます。

子どもを信じて、焦らずに見守っていきましょう。